

富山市民意識調査結果報告書  
(概要版)

平成 20 年 12 月  
富 山 市

## 目 次

1 . 調査の概要 .....	1
2 . 富山市の住み良さ .....	2
富山市の住み心地	
富山市への定住意識	
富山市に住み続けたい理由	
富山市外へ引っ越したい理由	
3 . 施策の満足度 .....	4
4 . 今後のまちづくりの重点 .....	5
5 . 市民の普段の取り組み .....	6
6 . 市の歌および市民憲章 .....	8

### この冊子のみかた

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合は、比率の合計が100%を上回る。
- Nは回答者数を示したものである。

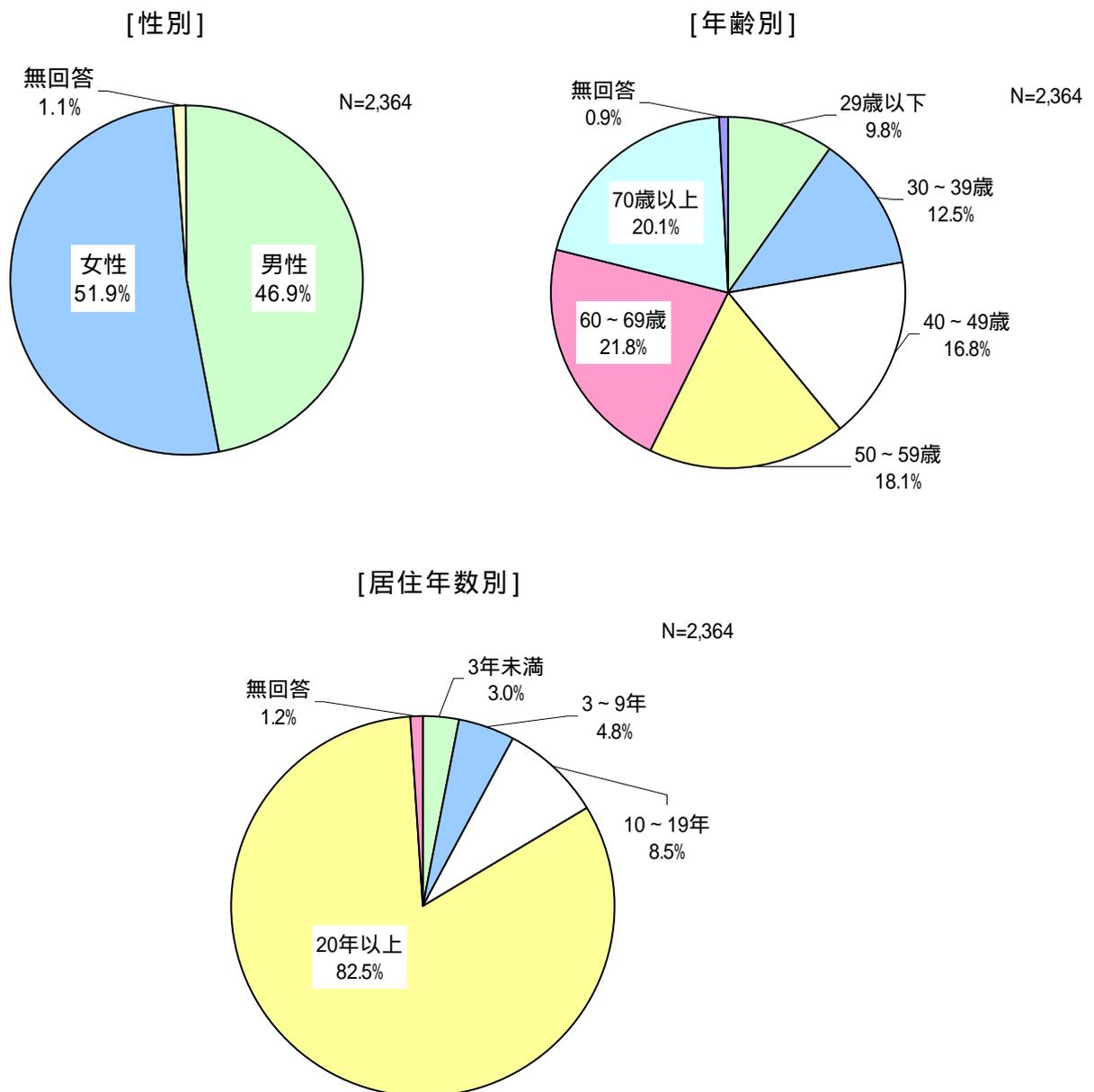
## 1 調査の概要

富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆さんの、施策の満足度や今後の施策への要望などを把握し、『総合計画』や市政の推進に反映させるため実施しました。

無作為に抽出した18歳以上の市民の皆さん6,000人に依頼し、2,364人、39.4%の方から回答をいただきました。回答いただきました方の内訳は次のとおりです。

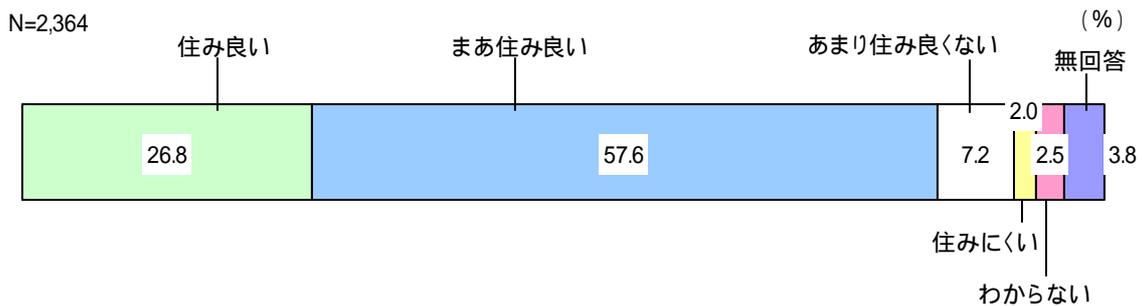
### 調査回答者内訳



## 2 富山市の住み良さ

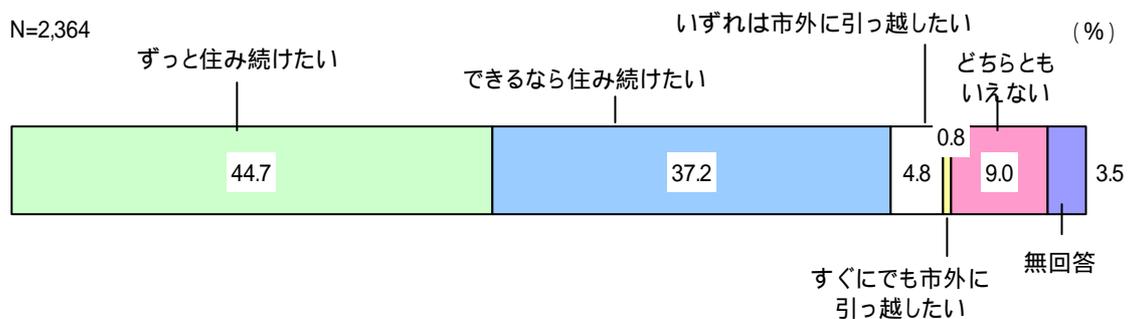
### 富山市の住み心地

「まあ住み良い」という回答が 57.6%と最も高く、「住み良い」(26.8%)と合わせると、84.4%となり、「あまり住み良くない」「住みにくい」を合わせた 9.2%を大きく上回っています。



### 富山市への定住意識

「ずっと住み続けたい」という回答が 44.7%で最も高く、「できるなら住み続けたい」の 37.2%と合わせると、81.9%の人が今後も市内に住み続けたいと感じています。

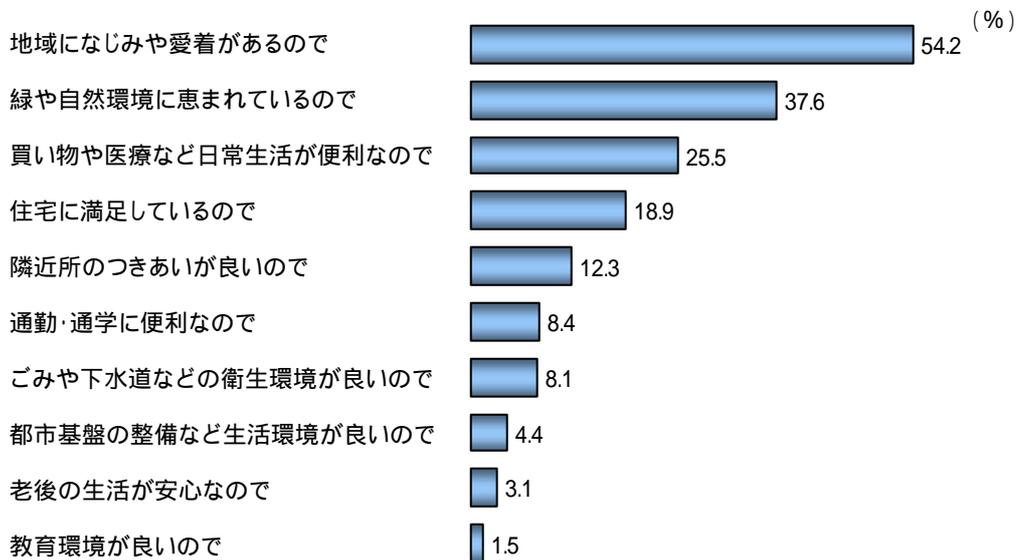


富山市に住み続けたい理由( で「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答した方にお伺いしました)

住み続けたい理由としては、「地域になじみや愛着があるので」が 54.2%で最も高く、次いで「緑や自然環境に恵まれているので」(37.6%)「買い物や医療など日常生活が便利なので」(25.5%)の順となっています。

## 住み続けたい理由

(複数回答、N=1,937)  
(その他と無回答は表示していない)

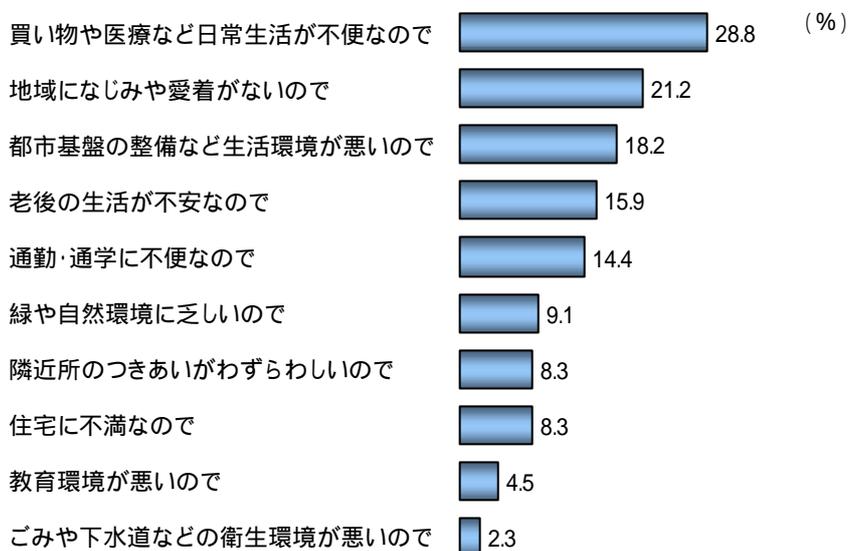


富山市外へ引っ越したい理由( で「いずれは市外に引っ越したい」「すぐにでも市外に引っ越したい」と回答した方にお伺いしました)

引っ越したい理由としては、「買い物や医療など日常生活が不便なので」が 28.8%で最も高く、次いで「地域になじみや愛着がないので」(21.2%)「都市基盤の整備など生活環境が悪いので」(18.2%)の順となっています。

## 引っ越したい理由

(複数回答、N=132)  
(その他と無回答は表示していない)



総合計画の 62 の施策について市民の皆さんの満足度をお尋ねしました。回答は 6 段階（満足、ほぼ満足、普通、やや不満、不満、わからない）ですが、ここではそのうち「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』としました。その上位 10 項目は次のとおりです。

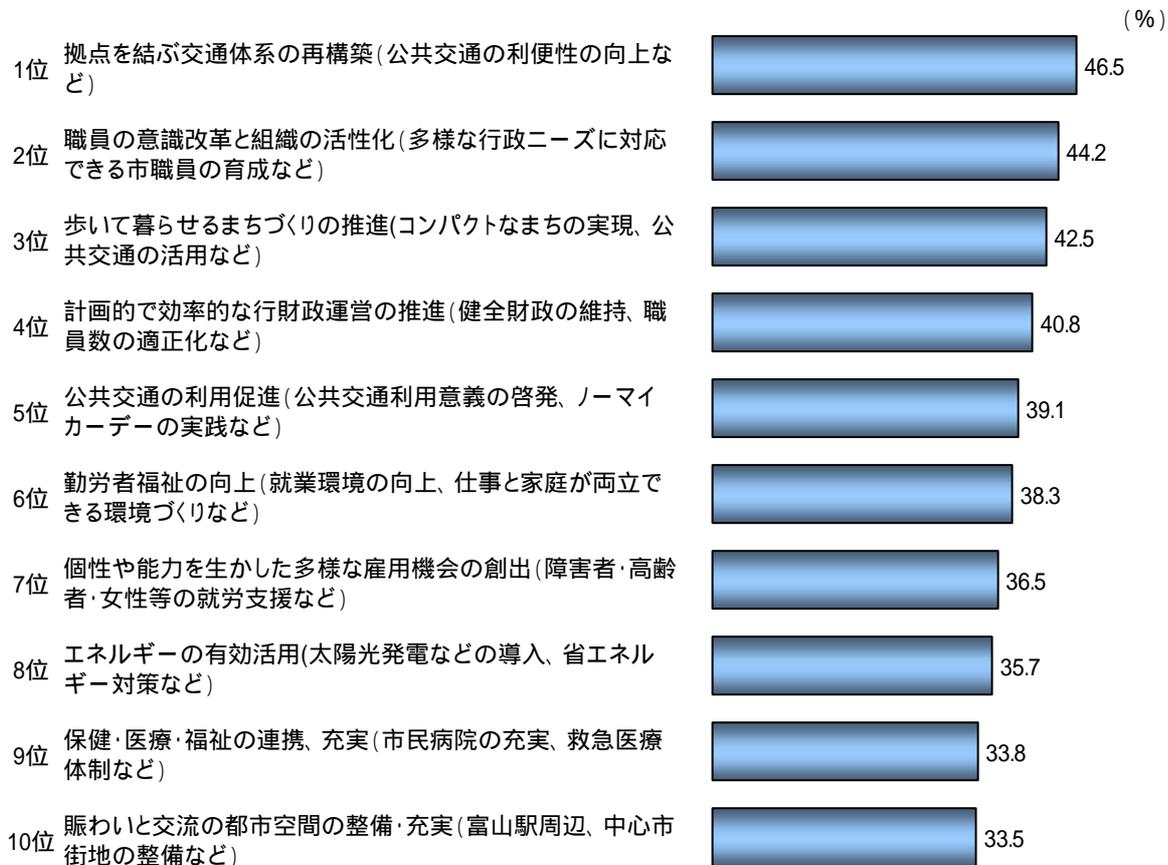
『満足』の割合が高い施策として、「快適な生活環境づくり」「雪に強いまちづくり」「消防・救急体制の整備」などが挙げられています。

一方、『不満』の割合が高い施策には、「拠点を結ぶ交通体系の再構築」「職員の意識改革と組織の活性化」「歩いて暮らせるまちづくりの推進」などが挙げられています。

### 『満足』（満足 + ほぼ満足）



## 『不満』(不満 + やや不満)



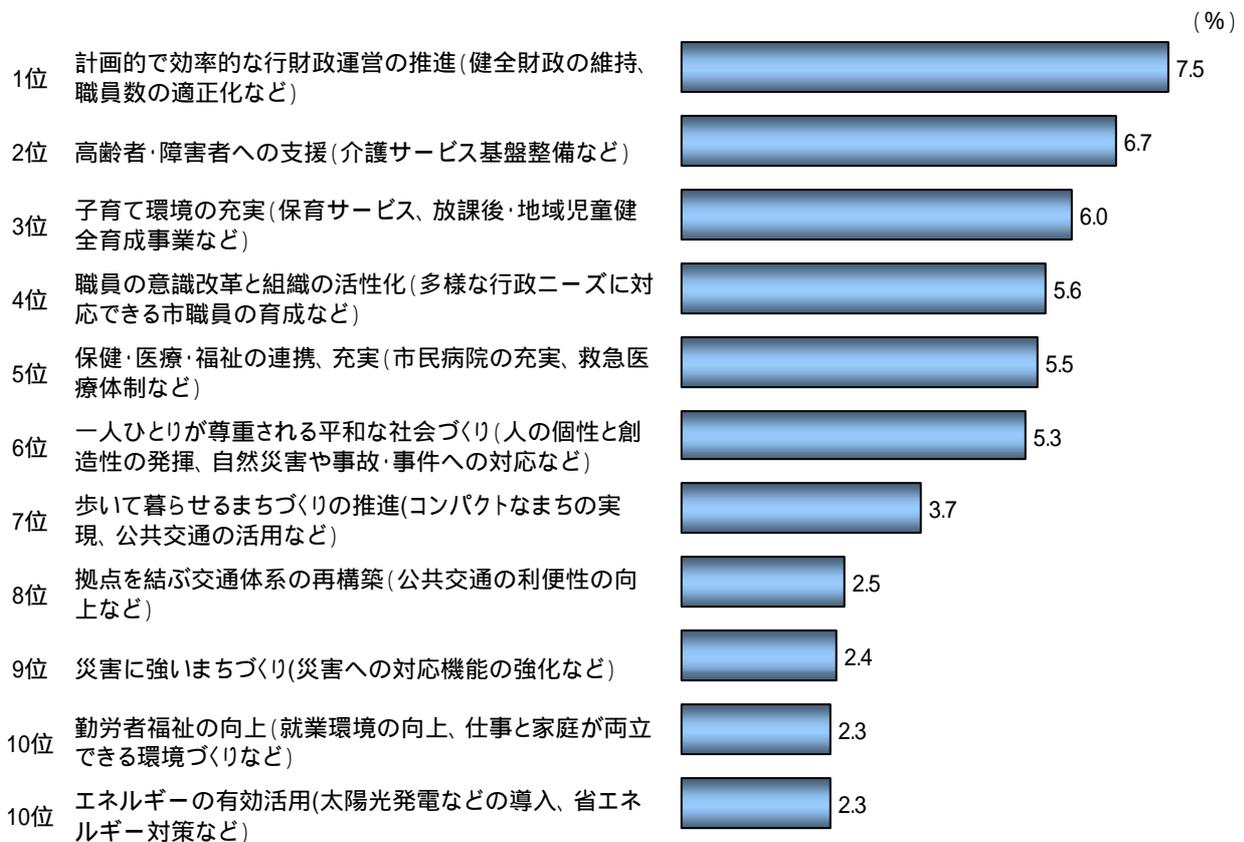
### 4

### 今後のまちづくりの重点

総合計画の62の施策のうち、最も重点的に取り組むべきもの(1つだけ回答)として挙げられた施策の上位10項目は次のとおりです。

福祉や医療、子育てに関する施策に重点を置くべきとの回答とともに、「計画的で効率的な行財政運営の推進」や「職員の意識改革と組織の活性化」が上位に挙げられ、市の運営などに対する関心の高さがうかがわれます。

## 最も重点的に取り組むべきと思うもの



## 5 市民の普段の取り組み

市民の皆さんが普段から行っている取り組みについて 26 項目の中から選んで回答いただきました順位は次のとおりです。

この結果、「ゴミの分別排出や排出の抑制」、「水資源保全のための節水」や「エコライフスタイルの推進」というような、環境に関して身近で出来る取り組みが多く行われています。また、多くの方が「定期的な健康診断の受診」や「スポーツ・レクリエーション活動の実践」など、自分自身の健康に配慮しています。

## 普段から行っている取り組み

(複数回答、N=2,364)  
(無回答は表示していない)



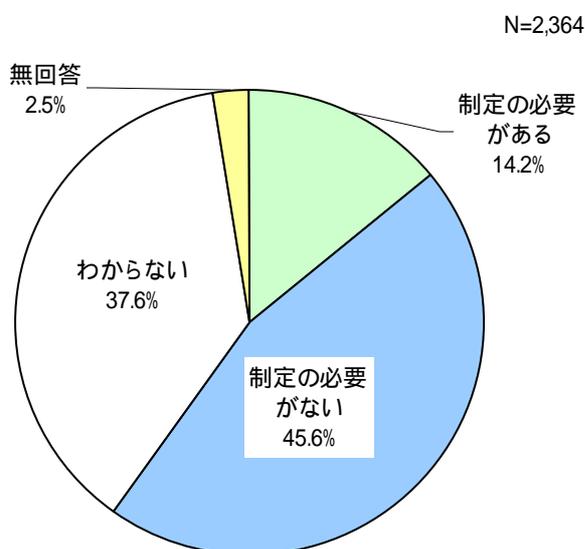
## 6 市の歌および市民憲章

今回、合併後に市の「歌」や「市民憲章」の制定について市民の意向を確認するため、その必要性をお尋ねしました。

市の「歌」の制定の必要性について、「制定の必要がある」と答えた方は 14.2% に対し、「制定の必要がない」と答えた方は 45.6% です。

一方、「市民憲章」の制定の必要性については、「制定の必要がある」と答えた方が 28.9% に対し、「制定の必要がない」と答えた方が 29.1% となっています。

### 「歌」の制定について



### 「市民憲章」の制定について

